



【院是】『病む人に学ぶ』  
患者さんとともに、安全で良質な、  
理想の医療の実現を目指します。

## Contents

### 巻頭 院長就任のご挨拶

2025年度のご挨拶	2-3
NANKYU TOPIC 1 フレイル専門外来	
フレイル外来について	3
NANKYU TOPIC 2 放射線科	
320列CT装置	4
NANKYU TOPIC 3 栄養管理室	
突撃、健康教室	5
NANKYU TOPIC 4 経営企画室	
緩和ケアフォーラム開催報告	5
NANKYU TOPIC 5 薬剤部	
薬剤師外来、始めました	5
外来診療案内	6

### 国立病院機構理念

国民一人ひとりの健康と、我が国の医療の向上のために、たゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに患者の目線に立って懇切丁寧に医療を提供し、質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます。



MINAMI KYUSHU HOSPITAL

# だより Nankyu EVOLUTION 2025



## 南九州病院 院長就任の挨拶 質の高い医療の提供

NHO南九州病院  
院長  
園田 至人

春を彩った桜もすっかり緑の葉に覆われ、風薫る季節となりました。皆様には平素より南九州病院との医療連携にご協力、ご支援いただき、心より感謝申し上げます。

さて、令和元年より5年間にわたり院長として多大な功績を残されました久保田伊知郎先生が、本年3月をもって定年退職されました。先生は就任直後よりコロナ禍に巻き込まれ、判断材料が非常に乏しい中、病院の対応を迫られました。その状況下で強力なリーダーシップを発揮され、コロナ患者の受け入れ、院内感染防止策など適切に指導されました。また、在任中の5年間で「特定看護師研修センター」の設立、高精度放射線治療装置(IMRT)、320列CTの導入、さらに「紹介受診重点医療機関」の認定を受ける等、当院の発展に大きく寄与されました。4月からは後任として前副院長の園田至人(そのだよと)が7代目院長として昇任することになり、ここにご挨拶申し上げます。

南九州病院は近隣の二つの結核療養所、現在の当院の場所にありました加治木療養所と帖佐療養所が統合、昭和46年に当院前身の国立療養所南九州病院として歴史を刻み始め、平成16年独法化され国立病院機構南九州病院となりました。国立療養所となってから今年で53年になります。その間、社会や疾病構造の変化に伴い、当院へのニーズ

も多様になって参りました。

発足当初より重要な役割を担って参りました結核や肺癌等の呼吸器疾患診療、特に肺癌に関しては、地域がん診療病院に認可され、鹿児島医療センターと協力して癌治療を行っています。また、難病医療拠点病院として、鹿児島県内各地より神経難病、筋ジストロフィー患者の受け入れ、各地への情報発信を行うとともに、小児科中心に、重度心身障害児、脳性麻痺、また発達障害等の小児神経疾患の診断、治療を行っています。放射線科は迅速な画像診断、始良伊佐地区では唯一の高精度放射線治療(MRT)で地域医療を支え、また循環器内科、消化器内科、糖尿病内科による急性期医療、ホスピスの理念に基づいた終末期援助を担う緩和医療、さらにフレイル外来、睡眠時無呼吸外等の特殊外来も運用するようになり現在に至っています。いずれもこの地域では当院でなければ対応することが難しい医療分野です。そのような中、当院の責務は地域の医療機関や診療所と協力し、強みの専門医療を中心に質の高い医療を提供し、共に診療のレベルアップを図り、地域へ貢献することと思っています。

今後も、地域に根差し、近隣の医療機関、地域の皆様のお役に立つ病院であり続けるよう、精進していこうと思います。皆様には今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

# 2025年度の挨拶

## 副院長就任の挨拶

### みんなで新しい景色を見に行こう

4月より副院長を拝命いたしました。これまでの経験を活かしながら、この地域のため当院の新たな成長と進化に向け、力を尽くしてまいります。

いま、私たち医療の現場は、大きな転換点に立っています。AIやICTの進展、ダイバーシティやサステナビリティといった価値観の浸透など、社会全体が急速に変化しています。こうした時代に対応しながら、医療人としての誇りと温かさを忘れずに、患者さんや地域に選ばれる病院であり続けるために、私たち自身も「変わることを恐れず、挑戦していかなければなりません。

私が統括診療部長時代に提案させてもらった南九州病院の合言葉「Nankyū EVOLUTION」をこれからもっと強化したいと思っています。それは、病院として進化し続けるという意思表示であり、すべての職員が前向きに、主体的に動いていくという姿勢の表れです。すでに「芽吹きプロジェクト」「特定Nsショットガン」「南九の歩き方」などいくつかのプロジェクトが動き始めています。これからさらに地域の医療に役立つさまざまな取り

組みをスタッフとともに実現していきたいと考えています。

「みんなで新しい景色を見に行こう」——この言葉を胸に、私たち一人ひとりが、小さくても自分なりの目標を立て、それに向かって歩みを進めていくことが大切です。もちろん達成できないこともあるでしょう。でも、「どうすればできるか」を一緒に考えていく、そんな風土をつくっていききたいと思います。

進化は一気には起こりません。しかし、確実に変わっていくことはできます。職種や立場の垣根を越えて、手を取り合いながら、一歩ずつ前へすすみます。

これから、地域の皆さんとともに歩んで行けるよう私自身も進化していきます。どうぞよろしく願いいたします。



副院長

東元 一晃

## 統括診療部長就任の挨拶

### 地域特性に根ざした医療の課題解決

この度、南九州病院統括診療部長を拝命いたしました池田義之です。当院は以下の項でも紹介しています通り320列CT装置を備えており、冠動脈疾患や末梢血管疾患など様々な疾患を鮮明な画像で診断することが可能です。また『すこやか長寿サポート外来—フレイル専門外来』を昨年9月より開設し、主に循環器疾患との関連で老年症候群の分野に関する診療を開始しています。始良地区住民のフレイル合併心血管疾患を見逃すことなく診断し運動療法や栄養介入を行うことで、要介護となる方を少なくしたいと考えています。私は1996年に医師免許を取得後、循環器診療を中心に診療に従事してきました。中でも2012年までは心不全を中心に、また留学から帰国後の2014年以後は主に末梢動脈疾患（閉塞性動脈硬化症など）の診療に従事し、さらにフレイルを軸とした循環器領域老年症候群の診療などを行ってきました。今後様々な施設と連携しながら『地域における末梢動脈疾患・重症虚血肢の下肢大切断をゼロにする』をスローガンに『末梢血管疾患外来・フットケア外来』を開設していきたいと考えています。

私は予防医学の観点から市民公開講座による生活習慣病予防の啓蒙活動や日本動脈硬化学会で動脈硬化性疾患予防ガイドライン作成委員及び生活習慣病・栄養部会委員などの委員会活動を行っています。こうした活動を通じ、また始良地区や隣接地域の様々な医療機関さらに行政にご指導を仰ぎながら、地域における生活習慣病の予防にも注力して参ります。

近年の診療の多様化や専門性が深まっている現状、また目覚ましいAIの進歩により診断や最適治療法の選択にAIを利用した診療が求められている現状に対応していくことも重要です。こうした課題に向き合いつつ地域保健医療の充実や地域特性に根ざした医療の課題解決に努めて参りますのでどうぞよろしく願いいたします。



統括診療部長

池田 義之

# 新任医師の挨拶



脳神経内科医師  
**小田 健太郎**

所属部署 脳神経内科  
前任地 いまきいれ総合病院  
趣味 筋トレ、釣り、旅行、飲み会  
ひとこと 全力で頑張ります。



脳神経内科医師  
**徳田 真**

所属部署 脳神経内科  
前任地 川内市医師会立市民病院  
趣味 釣り  
ひとこと 戻って参りました！  
よろしくお願ひ致します。



糖尿病内科医長  
**久保 智**

所属部署 糖尿病内科  
前任地 種子島医療センター  
趣味 エギング 釣果0(笑)  
ひとこと お酒と猫が大好きです。糖尿病患者様のために頑張ります。



小児科医師  
**岩崎 もも**

所属部署 小児科  
前任地 鹿児島大学病院  
趣味 カメラ  
ひとこと 一生懸命がんばります。  
よろしくお願ひ致します。



呼吸器外科医師  
**村本 太郎**

所属部署 呼吸器外科  
前任地 熊本市民病院  
趣味 バトミントン、カラオケ、ゲーム  
ひとこと 鹿児島の病院は初めてですが、精一杯頑張りますので、よろしくお願ひ致します。

## NANKYU TOPIC 1

### フレイル専門外来

統括診療部長 池田 義之

## フレイル外来について

人生百年時代、“いつまでも健やかに自立した生活を送りたい”  
“健康な状態で長生きしたい”というご希望をサポートさせていただくことを目的とした  
「すこやか長寿サポート外来(フレイル専門外来)」を2024年9月より開設しました。

### フレイルとは

自立した生活を送れているものの、身体的機能が低下し、病気にかかりやすい脆弱な状態のことです。健康と要介護状態の中間という位置づけで、多くの高齢者は、フレイルの段階を経て要介護状態になると考えられています。原因としては、加齢によって筋力が低下し、体の機能が衰えるといった身体的要因、人との交流がないなどの社会的要因、認知機能の低下やうつ病などの精神的要因があります。そのため、フレイルの予防や治療では、栄養や運動、社会とのつながりが重要視されています。

### フレイル外来で

問診をはじめ、採血や心電図など様々な検査を行い、人によって治療法は異なるので、栄養士や医師などがその人に合った継続できる運動・栄養を指導します。特に筋力トレーニングは、個人の判断ではケガをする可能性がある

ので、専門家の指導が必要です。フレイルは、適切な治療を受けることで、健康な状態に回復できることが多いため、早期発見が大切です。

### 診断チェックリスト✓

- 筋力が弱くなったと感じる  
(握力が男性28kg未満、女性18kg未満)
- わけもなく疲れたように感じる
- 週に1回以上、軽い運動をしていない
- 信号が青の間に横断歩道を渡りきれないなど、以前より歩くスピードが遅くなった
- 6カ月で2kg以上、意図せず体重が減少した

上のチェックリストで、65歳以上で、三つ以上当てはまる人はフレイル状態、一つか二つ当てはまる人は、前段階に当たる「プレフレイル」かもしれません。どちらも治療が必要な可能性があります。是非、南九州病院「フレイル外来」へ相談してください。

※かかりつけ医からの紹介状が無い場合でも受診は可能ですが、その場合は「初診時選定療養費」として7,000円(税込)が必要となります。

外来：予約制(毎週木曜日) 担当医：診療統括部長 池田 義之

## 320列CT装置

当院では、令和6年9月より高水準の精密検査を目指して、世界最多列の320列CT装置「Aquilion One」を導入しました。

本装置は、従来のCT装置と比較して全身を高速、かつ緻密に撮影することができ、より高度な医療を提供できるようになりました。特に、頭部や心臓を1回転(0.275秒)で撮影することが可能であり、当院が地域で担う脳卒中や心筋梗塞の診断精度を大きく向上させることができます。高速撮像が可能のため、息止めが困難な方やご高齢の方、小児科のお子様にとっても負担を軽減できる装置となっています。さらに、AIによって設計された最新の被ばく低減技術『AiCE(Deep Learning Reconstruction)』が搭載されており、患者様にとってより安

全で優しい検査を行うことができるようになりました。検査を受けるにあたり、ご不明な点がございましたら、遠慮なくスタッフにお声掛けください。



## 突撃、健康教室

令和6年7月より、外来待合室にて看護師と管理栄養士による健康教室を始めました。

事前の案内はなく、当日のアナウンスのみで開催することから、「突撃、健康教室」が院内通称となっています。教室は下記のように身近な内容で、診察や会計の合間に聞いていただけるよう30分程度としています。10ヶ月ほど経過し、患者さんから「この間も聞きましたよ」といった言葉

をいただくようになりました。今後も看護師・管理栄養士から、普段の生活の中で生かせる工夫などをお伝えしていきたいと思います。個別の栄養食事指導については、医師の指示のもと実施していますのでスタッフへお声掛けください。



看護師

- 熱中症!あなたなら、何を飲みますか?
- あなたの知らない運動療法
- フレイルってご存じですか?貯筋が大事なその理由
- 睡眠と糖尿病の関係



管理栄養士

- 熱中症を予防しよう
- しっかり食べてフレイル予防
- 果物の適量は?秋の味覚と食物繊維の効果
- 冬の料理と塩分量

## 緩和ケアフォーラム開催報告 ～地域で生きる緩和ケア～

2024年12月14日(土)にイオンタウン始良にて緩和ケアフォーラムを開催しました。



このフォーラムは、始良・伊佐保健医療圏の「地域がん診療病院」として地域の方々に緩和ケアについて理解を深めて頂くことを目的として開催しています。開催日は、12月のクリスマス前の休日

で行き交う中での催しとなりました。「鹿児島大学医歯学うた部」によるオープニングコンサートで始まり、当院松永緩和ケア認定看護師、東元統括診療部長の講演のあとは、奈ほ美在宅クリニック 瀧田院長と東元統括診療部長のお二人で対談形式で「訪問診療と病棟(緩和ケア棟)の役割について」というテーマで話をさせて頂きました。最後のパネルディスカッションでは、「家でもできる緩和ケア」をテーマに、この地域で在宅緩和ケアに関わる様々な職種の方をパネラーとしてディスカッション頂きました。在宅で展開される緩和ケアをイメージしてもらうことを目的として、がんの在宅ケアと地域連携について、日頃の患者さんとの関わりの中で感じていることを中心にそれぞれの立場から意見を聞かせて頂きました。

### パネルディスカッション参加者

- 司会  
南九州病院地域医療連携室  
地域医療連携係長/吉岡
- パネリスト  
訪問看護ステーションこもれ陽/梅田様  
ぶどうの木調剤薬局/三浦様  
クオラリハビリテーション病院ケアマネージャー/宮路様  
始良市地域包括支援センター/大窪様



今回のフォーラムは、訪問診療や訪問看護等地域のリソースを活用して、可能な限り在宅で過ごすことができる緩和ケアについて知って頂く良い機会になったと考えています。開催にご協力頂きました病院スタッフ、コンサート・対談・パネルディスカッション等出演者の皆様、会場を貸していただいたイオンタウン始良の皆様ありがとうございました。

## 薬剤師外来 始めました

令和6年11月より相談室にて薬剤師外来を開始しました。

薬剤師外来をご存じですか?薬剤師が外来で、医師の診察の前後に患者さんやご家族から服薬できているか、副作用の状況などの話を伺い、医師へ報告したり、処方提案などを行ったりする業務のことです。有用性が注目されている業務ではありますが、当院では外来患者さんへの介入は十分に行えていませんでした。2024年よりがん薬物療法体制充実加算が新設されたことを機に、2024年11月より外来化学療法予定の患者さんを対象に薬剤師外来を開始しました。外来化学療法予定の方は、診察の前に、採血・検尿検査などが行われます。診察は結果が出てからになることが多いため、待ち時間が発生しが

ちです。その待ち時間を利用して、薬剤師面談室にてお話を伺っています。薬が余っているから今回はいらない、便秘になったから薬が必要、治療が始まってからかゆみがあるなど、様々なお話を伺い、医師へ処方提案や副作用の状況などの情報提供を行っています。これらの事前情報により、医師の診察もスムーズに行うことができます。ささいな体調変化でも治療の副作用かもしれません。薬剤師外来へお越しの際は、遠慮なくお話しください。



# 外来診療案内

2025年5月 現在

区分	受付時間	科目	月	火	水	木	金	
成人外来	8:30~11:00	呼吸器内科 (予約制)	(新)	是枝 快房	東元 一晃	藤崎 志郎(第1・3・5) 森田 薫(第2・4)	渡辺 正樹	眞田 宏樹
			(再)	眞田 宏樹	東元 一晃 藤崎 志郎 濱田 美奈子 森田 薫	渡辺 正樹 眞田 宏樹	是枝 快房 藤崎 志郎	東元 一晃 森田 薫
		アレルギー科 (予約制)			東元 一晃			
		脳神経内科	(新)	延原 康幸	尾ノ上 祐大	大藪 祐輝	徳田 真	小田 健太郎
			(再)	園田 至人 小田 健太郎	園田 至人	延原 康幸 (午後)園田 至人	園田 至人 大藪 祐輝	園田 至 尾ノ上 祐大
		呼吸器外科 (予約制)	(新)	久保田 伊知郎 吉本 健太郎 本岡 大和			久保田 伊知郎 吉本 健太郎 本岡 大和	
			(再)	久保田 伊知郎 吉本 健太郎 本岡 大和			久保田 伊知郎 吉本 健太郎 本岡 大和	
		消化器内科 (予約制)	(新)	竹内 彰教	前田 拓郎	竹内 彰教	竹内 彰教	前田 拓郎
			(再)	竹内 彰教	前田 拓郎	竹内 彰教	竹内 彰教	前田 拓郎
		糖尿病内科 (予約制)	(新)		久保 智			久保 智
			(再)		久保 智			久保 智
		放射線科 (予約制)	(新)					
			(再)				西田 博利	
		放射線治療 (予約制)		高江洌 伸	高江洌 伸	高江洌 伸	高江洌 伸 14:00~16:00	高江洌 伸
	循環器内科 (予約制)	(新)	池田 義之		池田 義之	川島 吉博	別府 理沙	
		(再)	川島 吉博	別府 理沙	川島 吉博	別府 理沙	池田 義之	
	心筋シンチ (予約制)		○	○	○	○	○	
	健康管理手帳所持者に対する健康診断		米倉 隆治	米倉 隆治	米倉 隆治	米倉 隆治	米倉 隆治	
	10:00~13:00 緩和ケア棟:面談室	緩和ケア初診/相談 (予約制)		東元 一晃			東元 一晃	
	13:00~16:00	フレイル外来 (予約制)					池田 義之	
14:00~15:00	禁煙外来 (予約制)					是枝 快房		
8:30~11:00	睡眠時無呼吸外来 (予約制)			○				
小児外来	9:30~11:00	小児科 (予約制)	岡本 真道		岡本 真道		岡本 真道	
		腎臓外来 (予約制)					吉留 幸一	
9:30~11:00	アレルギー外来 (予約制)	岡本 真道						
小児神経外来	9:00~13:00	小児科 (予約制)		四俣 一幸 米衛 ちひろ 森山 瑞葵		四俣 一幸 米衛 ちひろ 森山(岩崎)		
	14:00~16:00	小児科 (予約制)		四俣 一幸 米衛 ちひろ 森山 瑞葵	四俣 一幸 米衛 ちひろ 岩崎 もも	四俣 一幸 米衛 ちひろ 森山(岩崎)		

※予約制となっている診療科にご紹介いただく場合は事前にご連絡をお願いいたします。(※急患の場合は、その旨電話でお伝えください。)

※当院は紹介受診重点医療機関となっております。受診の際はかかりつけ医からの紹介状をお持ち下さい。

※セカンドオピニオン外来は完全予約制です。詳細は、当院のホームページ(<https://minamikyusyu.hosp.go.jp/>)をご覧ください。

※予約のご連絡は13時~16時の間をお願いいたします。また、診療に関するお問合せにつきましても、13時~16時の間をお願いいたします。

※緩和ケア外来の予約は、がん相談支援センター(0995-62-3677)にお問い合わせください。 ※小児科への入院のご依頼の際は、お電話でご一報ください。

南九だより

2025 春号 Vol.39 2025年5月 発行

発行：独立行政法人国立病院機構 南九州病院

〒899-5293 鹿児島県始良市加治木町木田 1882 TEL：0995-62-2121・FAX：0995-63-1807

地域医療連携室(直通) TEL：0995-63-0843・FAX：0995-63-0840 地域医療連携室 編集発行人：東元 一晃

ホームページ <https://minamikyusyu.hosp.go.jp/>

